

臼田地区の皆様へ

令和3年8月から (令和3年8月1日販売開始予定)

家庭系生ごみ専用袋が変わります！

※生ごみ以外の袋は従来通りです。

1. 紙製から「生分解性プラスチック」を使用した袋が変わります。



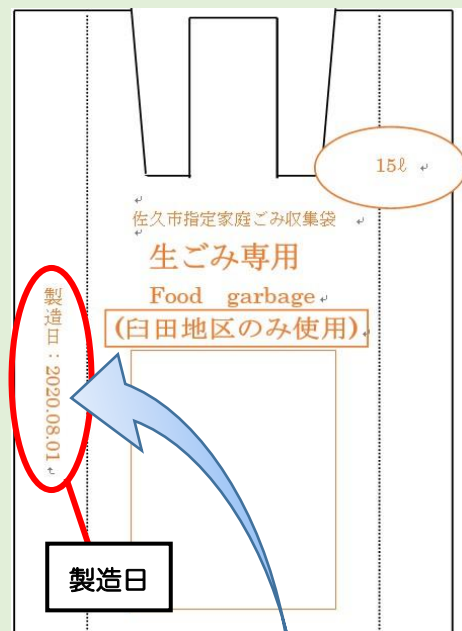
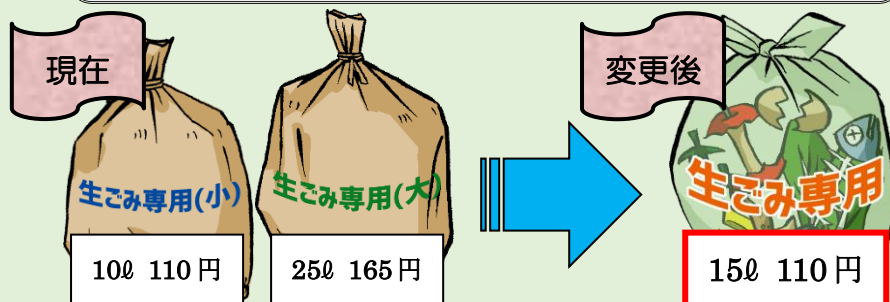
生分解性プラスチックとは

- ・「生分解性プラスチック」は、通常のプラスチックと同様に使うことができ、使用後は自然界に存在する微生物の働きで、最終的には水と二酸化炭素に分解されます。
- ・今までと同様に、堆肥センターに袋のまま投入しても堆肥化の妨げになりません。

2. 形状・デザインも変わります

新しい生ごみ専用袋は、透明にオレンジ色の文字が印刷されています。

- ・新しい袋の大きさは15ℓの1種類のみです。
- ・袋の形状もレジ袋状の持ち手と縛り口が付きます。



※イラストはごみ袋のイメージです。



お取り扱い上の注意点

生分解性プラスチックは、直射日光や高温・多湿で劣化します。
下記に注意して保管してください。

- ・生分解性プラスチックのごみ袋には使用期限があります。製造日から概ね1年以内に使用してください。(袋には製造日が印字されています。)
- ・購入後は、直射日光や高温・多湿を避けた場所で保管してください。
- ・まとめたの購入はせず、必要最小限の数量をご購入ください。



※裏面に続く



生分解性プラスチック製生ごみ袋に関するQ&A

Q1. どうして生分解性の生ごみ袋に変更するのですか？	A1. 今までの紙製の袋は、縛り口や持ち手が無く、ごみステーションまで持っていくのが大変だと言うご意見がありました。 また、製造に特殊な加工が必要なため、製造可能な業者も限られ、今後の製造が困難になってしまいます。 新たな生ごみ袋の導入を検討する中で、環境に配慮した先進的な取り組みとして導入する自治体が増えつつある生分解性プラスチック製の生ごみ袋に変更することとなりました。
Q2. 新しい袋はいつから販売され、いつから使用できますか？	A2. 新しい袋は、令和3年8月から販売開始の予定ですが、紙製の袋の在庫がなくなるまで、 <u>新しい袋（生分解性）と古い袋（紙製）の両方が店頭に並びます。</u> <u>新しい袋（生分解性）は、販売開始後から使用可能です。</u> 古い袋（紙製）も引き続き使用できますので、どちらをご使用いただいても構いません。
Q3. 家庭にある紙製の袋はどうすればいいですか？	A3. 今までの生ごみ専用袋（紙製）を使っても生ごみを出すことができます。
Q4. 新しい袋（生分解性）の色やデザイン、大きさは変わりますか？	A4. 今までの紙製の袋から、生分解性プラスチックを使用した袋に変わります。 新しい袋（生分解性）は、透明にオレンジ色の文字が印刷されています。 <u>大きさは15ℓの1種類のみ</u> です。若干薄い生地になっているので、袋に入れるごみの量に注意してください。
Q5. 新しい袋（生分解性）の販売価格はいくらかですか？	A5. 販売店での希望小売価格は <u>10枚1組で110円（税込み）</u> です。 <u>※店舗によって販売価格が異なる場合があります。</u>
Q6. 新しい袋（生分解性）に入れられる生ごみの種類は、今までと変わりますか？	A6. 変わりません。これまで同様、鶏等の硬い骨、桃等の硬い種、貝殻、とうもろこしの芯は「可燃ごみ」へ分別してください。
Q7. 生ごみを新聞紙で包んで、新しい袋（生分解性）に入れても良いですか？	A7. 新しい袋（生分解性）になっても、 <u>生ごみを新聞紙で包んで出すことができます。</u> <u>生ごみの水切りを行ってから新聞紙に包んでください。</u> <u>※袋には生ごみ以外のものを入れないでください。</u>
Q8. 新しい袋（生分解性）の保管上の注意点はありますか？	A8. 新しい袋（生分解性）には使用期限があります。 <u>製造から概ね1年以内に使用してください。</u> また、保管の際は、 <u>直射日光や高温多湿を避けてください。</u> <u>※直射日光や高温多湿は、袋の劣化の原因となります。</u>
Q9. 古い紙製の袋と新しい袋（生分解性）を交換してもらうことはできますか？	A9. 交換はできません。紙製の袋を使用して出すこともできるので、紙製の袋から使い切ってください。
Q10. 劣化した生分解性の袋を交換してもらうことはできますか？	A10. 保管状況による劣化の場合、交換する事はできません。製造工程における不良品（接着不良など）の場合は、生活環境課までご連絡ください。
Q11. 新しい袋（生分解性）を堆肥センターに投入しても、きちんと堆肥化されますか？	A11. 堆肥センターにおいて、生分解性プラスチック袋の投入実験を行ったところ、袋ごと問題なく堆肥化されることが確認できました。

【お問い合わせ先】
佐久市役所 環境部生活環境課
☎0267-62-3094（直通）

